

『業界が変わらなきゃいけない』
それにはまず、自分たちが変わること。
成長し続けること。

いよいよ先が見通せなくなってきたこの業界。いかに生き抜くか。自らを高め、業界を高める。そんな課題に真正面から向き合う東西の志高き治療家たちの取り組みを探つた。

ひーりんぐマガジンではもうおなじみとなったTTC（一般社団法人トータルセラピストコミュニティ・木場克己代表理事）。事務局は東京に構えているが、技術セミナーなどの活動はすでに全国に展開している。そのTTCが関西を拠点に活動している整骨院経営研究会（小島皇志理事長）との初のコラボを果たしたのは昨年9月、大阪御堂会館でおこなわれたチャリティーセミナーだ。セミナー収益金を東日本大震災で被災された方への支援金として提供するという趣旨で同研究会が主催したもので、これにTTC代表理事の木場氏が講師として駆けつけたのが交流のはじまり。木場氏といえば、著書「体幹力を上げるコアトレーニング（成美堂出版）」が有名だが、セリエA（イタリア）インテルで活躍の長友佑都選手のトレーナーを務める。「ヘルニアと分離症、極度の腰痛に悩まされていた長友選手だが、その長友選手がアグレッシブに走り回り活躍している、そのトレーニングのヒントが得られるかもしれません」とあって多くの治療家が集まつた。200名の定員をはるかに上回る参加者で賑わつたのは記憶に新しい。

西の整骨院経営研究会、東のTTC、どちらも生粧の治療家が自ら運営している。その共通点は、「業界を盛り上げたい、皆で繋がり高めあい、交流を深めたい」とい

う熱い気持ちだ。これは、同研究会が理念に掲げる「絆を深め共に成長」という言葉によく表れている。このふたつの会は、その生い立ちもよく似ていて、有志が集まり自然発生的に始まつた勉強会が発端。これが少しづつ広がり組織を形成するのに長い時間がかからなかつた。東のTTCは2008年に発足し、昨年一般社団法人として組織化した。一方西の整骨院経営研究会は、2004年に発足し、3年前に理事制を導入している。

絆を深め 共に成長

SEIKOTSUIN KEIEI KENKYUKAI @OSAKA

TOTAL THERAPIST COMMUNITY @TOKYO



整骨院経営研究会



Total Therapist Community



一般社団法人トータルセラピストコミュニティ

PROFILE
木場克己 氏
こばかつみ

有限会社コバメディカルジャパン
株式会社アスリートウェーブ
代表取締役

(T) TTC 代表理事

FC東京ヘッドトレーナーを経て、現在はサンフレッチェ広島育成コンディショニングアドバイザーとして活躍。またパーソナルトレーナーとして、長友佑都選手のパーソナルトレーナーをはじめ、多くのトップアスリートの指導をおこなっている。



■ 5月27日（日）、TTCは、整骨院経営研究会の協賛でセミナーを開催する。場所は同研究会の本拠地大阪。アスレティック・トレーナー岩崎由純氏を講師に迎える予定だ。岩崎氏は、あなたの一言で元気を与える気にして、「あなたの一言で元気を与える気にして」を理念に掲げる西の整骨院経営研究会。今後の東の交流が楽しみでならない。



PROFILE

小島皇志 氏

こじまこうじ

株式会社メディカルハート
株式会社メディカルフラワー
代表取締役

整骨院経営研究会 理事長

1992年 明治鍼灸大学卒業
1995年 明治東洋医学院専門学校柔整復科卒業
1997年 鍼灸整骨院開院
現在グループ院5院、ティーサービス1院を経営
今年1月に整骨院経営研究会理事長就任

「技術の根底となる人間力みたいなところを育てたい。技術っていうのはいくらでもできる、でも、その技術を使う人間のソフトの部分、人間力。これはなかなか教育ができない部分です。この経営研究会ではそこをやっていきたい。ちょっと時間はかかります。でも、それがないところに上物の技術は乗ってこない。」

PROFILE
森脇直樹 氏
もりわきなおき

有限会社モリワキメディカル
代表取締役

整骨院経営研究会 専務理事

明治東洋医学院専門学校鍼灸学科・柔整学科卒。鍼灸師、柔道整復師。プロスキーイヤーとしての経験を持ち、スポーツトレーナーとして海外での活動実績もある。多いときは保険治療とは別に一日60名を超えるアジャストを行う。大阪のカリスマ治療家。



院の受付業務の向上を目的とした委員会だ。各委員会はメンバーの中から選出された委員長の下で定期的なミーティングをおこない、年に2回、研究会全体の勉強会に

組織され、12社の社員約300名が会員としてこの委員会が出される。理事会の下部組織として院長合宿委員会、受付委員会、接遇委員会など6個の委員会が組織され、企業12社が軸となり、その経営者12名が理事を務める。理事長の任期は1年。選挙によって選出される。

臨む。6委員会が年に2回おこなうので、毎月いざれかの委員会の勉強会が開催されることになる。中でも特徴的なのが院長合宿委員会。院長だけを半年に1回召集し、1泊2日の合宿をおこなうというもの。目標に対しその進捗を半年毎に評価し、年末にはその結果をペーティー形式で発表し共有する。「その目標は適正なのか?」「予定通りに進捗しているのか?」など、時には厳しい言葉が飛び交い、真剣なやり取りを交す。だからこそ達成時の喜びもひとときわなものだろう。勉強会の内容は理事会からのトップダウンではなく、委員会メンバーが全て自主的におこなっているという。「会員すなわち、社員さんたちが自主的におこなうので横の繋がりがむちやくちや強いんですね。」「社外でこういう組織づくりと、組織の運営方法を学ぶのも整骨院経営研究会の大きな目的のひとつ」。経営者と従業員つて、親子のようなものだと思つんです。関係が近すぎで、いい事言つても「何いうてんねん」と反発しがちですが、信頼関係の出来ている他社の理事の話だと素直に受け入れられるんですよ。」（小島氏）「そう、親として私が言つてもなかなか伝わらない事が、他社の理事がそれを言うと、同じ事なのに響くんですよ、すとんと落ちるんです。」（森脇氏）「で、『よくよく考えると社長も同じ話してたんや』って、うちの社員もはじめて気づくんです。」（小島氏）

技術の勉強を決してなおざりにするわけではない。「技術の勉強は施術家として当たり前。その前に入間としてのスキル、人間力を高め、共に成長しなくちゃいけない。」小島、森脇、両氏は口を揃えてそう話す。様々なカテゴリーの技術系セミナーを開催し全国の治療家から注目を集め東のTTC。独自の組織構造と仕組みの中で人間力の向上と、繋がり、そして何よりお互いの「成長」を理念に掲げる西の整骨院経営研究会。今後の東西の交流が楽しみでならない。

5月27日（日）、TTCは、整骨院経営研究会の協賛で

セミナーを開催する。場所は同研究会の本拠地大阪。アスレ

ティック・トレーナー岩崎由純氏を講師に迎える予定だ。岩崎氏は、

あなたの一言で元気を与える気にして

【ペツプトーク講座】をす

でTTCセミナーで講演し、多くの治療家に支持されている。メディ

クスもちろん後援企業のひとつとして参画する。（詳細は、最終ペー

ジをご覧ください。）

（文・構成デザイン=メディックス広報室 上野康雄）